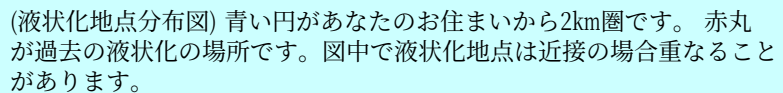
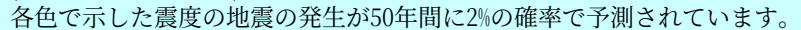
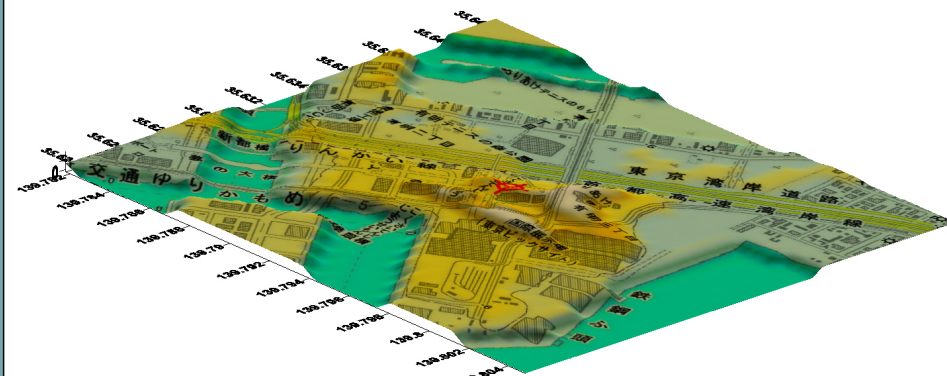


世界座標：北緯35.6331131度 東經139.792375度

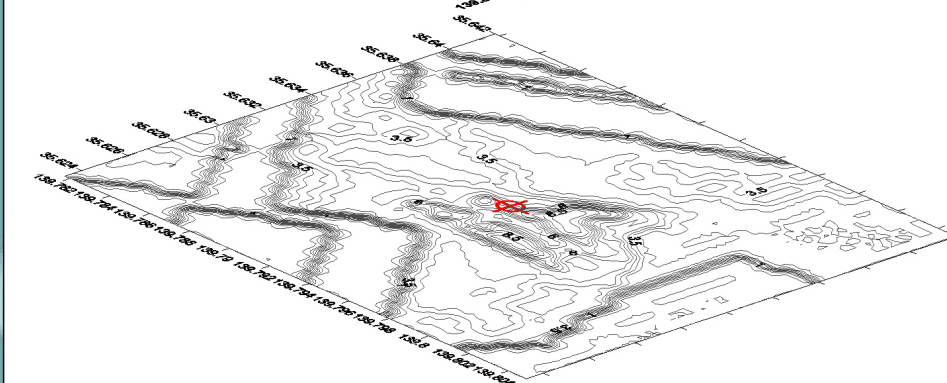
気象庁: 日本の活火山分布



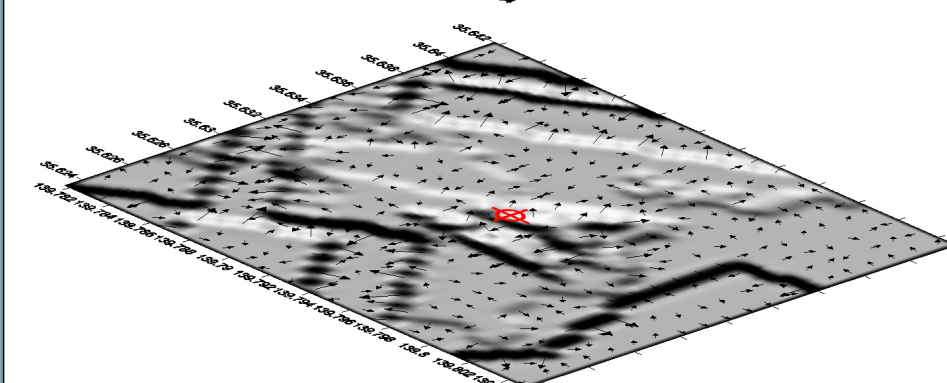
住環境サステナブルレポート



(立体図)
地盤の起伏を俯瞰することができます。図は起伏を強調し表示しています。お住まいの地域の地形が表現されています。図の1辺は2kmです。



(等高線図)
同じ高度の点を結んだ線を使って、起伏を表現しています。微地形を表現するために通常の地形図より細かい等高線を表示しています。図の1辺は2kmです。



(ベクトル図)
地盤の高低の方向を示しています。水の集まりやすい集水地形が判別できます。図の1辺は2kmです。



※各図左側、下側の数字は緯度、経度
立体図の縦の数字は標高です。

<情報利用に関してのご注意>

※この住環境サステナブルレポートは、公開情報であるハザードマップや地形図の判読、公開リスク計算WEBサイト等の情報を統合し、リスクに対応するための基礎情報として使用することを目的にご提供するものです。ここで示されるのは、リスクの存在の可能性であり、当該地において直ちにこのような災害が発生することを意味するものではありませんのでご注意ください。
※ここに示す情報が全ての情報でないことにご注意ください。また、当該地点の情報を全て正しく示していない可能性があることをご了承ください。なお、お住まいの自治体が提供する、災害ハザードマップをご参照ください。 Ver2.0

お問い合わせ先 (住環境サステナブルレポート)

株式会社 ジオネット・オンライン札幌出張所
担当：榎本 TEL:011-299-1016
メールアドレス:info-geo@geonetonline.com

レポート作成者：株式会社 ジオネット・オンライン

取扱代理店

普段、目にすることが少ない「お住まいの地質・地盤情報（ジオ情報）」を公開されているさまざまな情報により整理し、解りやすいレポートの形式でお届けします。

わが国は、その位置、地形、地質、気象などの自然条件から地震、台風、豪雨などの自然災害が発生しやすい国土で、不安を感じておられる皆様も多いと存じます。その一方で、私たちは自分の居住地の地質や地盤の情報についてはあまり馴染みがありません。そこで、東海、東南海、南海地震の同時発生によるメガクエーク(巨大地震)の災害発生も予測される今、さまざまな自然災害への備えについて考えたり、火災保険、地震保険にご加入を検討される際などにご参考となるよう基礎的な地質・地盤情報をご提供させていただくことといたしました。

このほかにも内閣府発行の「減災のてびき」や皆さまが居住される市区町村が提供している「災害ハザードマップ」など多数の情報が自然災害に備えるためのご参考になります。あわせて閲覧されることをお勧めいたします。

株式会社 ジオネット・オンライン



<あなたのお住まいのジオリスク概要>

あなたの住環境の地震、地盤災害の可能性は、地震時の強い揺れ(強震)被害液状化被害津波地盤沈下の懸念が高く浸水(内外水氾濫・高潮など水害)の懸念がややあります。常に地震情報や降雨、海岸部や標高の低い土地では高潮・津波にも十分な注意を払う必要があります。活火山・原発リスクの懸念は小さいですが、噴火および事故の規模により被害範囲が広がることもありますので注意が必要です。

<ジオリスクに備えるためのヒント>

ジオリスクを減少させるヒントとなる情報は、内閣府など官庁等の機関や各自治体のホームページに多くの情報が掲載されています。これらの情報などを参考に防災減災情報を入手、ご活用ください。

1. あなたのお住まいの地震倒壊危険度は建築年がひとつの目安となります。1981年以前に建てられた場合、耐震診断や耐震化のご検討が有効です。
2. 自分やご家族の安全を守るための対策は、次の項目を参照してください。
 - ・お部屋の総点検を！家具類の固定や家具の向きの変更を徹底しましょう。
 - ・ひごころから準備しておきたいもの-非常用食料や飲料水、災害時持出品など
 - ・外出先で身につけておきたいものを携行しましょう！
 - ・緊急時の避難場所・連絡方法をご家族で確認しましょう。
 - ・火もとの後始末方法や消火器の取り扱い方法を知っていますか？
 - ・万一のときは自分の無事を伝えましょう。自分から発信することが大切です。

